一般財団法人
地域活性化センター
Japan Center for Regional Development

ニュースリリース

２０１８年１２月１０日

～「旅に出たくなる、思わず手にとる」パンフレット～

第6回　ふるさとパンフレット大賞　決定！

大賞　秋田県。特徴的な地域資源を 7 か国語に

主催：一般財団法人地域活性化センター　　後援：時事通信社、共同通信社

（一財）地域活性化センターでは、東京都中央区・日本橋プラザビル 1 階に設置している「ふるさと情報コーナー」に都道府県・市町村の観光・イベント等のパンフレット約 2,600 種類を展示し、来訪者の皆様にご自由にお持ち帰りいただき、地域の魅力・発信の支援を行っています。

同コーナーは、年間、約 34 万部のパンフレットを提供し、提供部数の多い人気パンフレットランキングを毎年発表していますが、ランキングの上位は有名観光地に集中しがちです。そこで、当センターでは、平成 25 年度から「ふるさとパンフレット大賞」を設け、優れたセンスで地域情報を発信しているパンフレットを表彰しています。従来は「ふるさと情報コーナー」で提供している約 2,600 種類のパンフレットより選考していましたが、今回から全国の自治体に対して募集を行う方式に変更し、集まった 155 点から選考を行いました。

この度、第 6 回の各賞が決定しましたのでご報告させていただきます。今回は、増加する外国人観光客をターゲットとして 7 か国語版に対応するパンフレットを作成した秋田県が大賞を受賞しました。

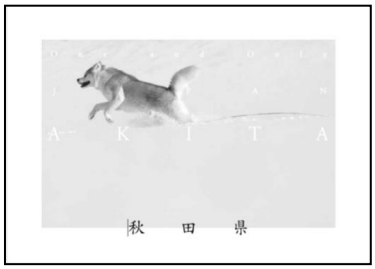
記

1．名称　「第 6 回ふるさとパンフレット大賞」

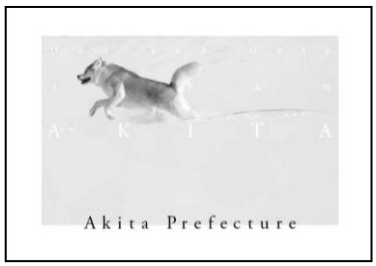
2．目的　地域の魅力的なパンフレットの創造により、
旅に出ていただくことで地域の活性化を目指しています。

3．各賞受賞パンフレット

【大　　賞】秋田県「県勢情報誌"One and Only JAPAN AKITA"」
【優　秀　賞】石川県小松市「こまつまなび～こまつの文化にふれて～」
【南伸坊賞】福岡県吉富町「聞かれすぎて慣れました 吉富町ってどこ？」
【楓千里賞】大分県竹田市「暮らすように旅する竹田 つくりてのつくるば」
【パックン賞】天草・宇土半島地域広域連携事業実行委員会「天草・宇土半島 ワイルド島と男メシ」
【マックン賞】群馬県嬬恋村「妻との時間をつくる旅 公式ガイドブック」
【地域活性化センター賞】静岡県静岡市「しずおか東海道まちあるきガイドブック」
【敢闘賞】　群馬県沼田市「天空の城下町 真田の里 沼田」
東京都港区「Minato City Guide and Etiquette　港区観光＆マナーブック」



（日本語版）



（英語版）

（タイ語版）

４．選考委員

委員長　南　伸坊　氏（イラストレーター）
委　員　楓　千里　氏（株式会社 JTB パブリッシング　顧問）
パックン　氏（お笑いコンビ　パックンマックン）
マックン　氏（お笑いコンビ　パックンマックン）
岩崎　正敏　（一般財団法人地域活性化センター　常務理事）

５．審査委員からのコメント

【南 伸坊　委員長】

◎総括

大賞の秋田県は、激増している外国人観光客向けに中国語バージョン、韓国語バージョン、タイ語バージョンなど、それぞれ個別に作ったその「決断」が評価されました。

優秀賞の『こまつまなび』は美しい写真やレイアウト、デザインの手堅さが買われました。

敢闘賞の『Minato City Guide and Etiquette』は、大賞の秋田県と対照的に 4 か国語を併記する方式にしたために、写真が小さくなって魅力が目減りしました。内容はいいのに「頑張りすぎたで賞」とパックン委員から発言がありました。併記しないで予算も抑える工夫ができるといいですね。

同じく敢闘賞の『天空の城下町沼田』は、中国語バージョンのもののみの応募でしたが、あるいは他言語のものも作られているのかもしれません。中国語なので我々には詳細が分かりませんが、写真もレイアウトもキレイにまとまっています。個人的には、迦葉山の大天狗の写真は素晴らしくインパクトがあるので、もっと積極的な場所で見せてほしかった。

◎個人賞　福岡県吉富町「聞かれすぎて慣れました 吉富町ってどこ？」について

個人賞に選んだあと、またもう一度、二度と見れば見るほど傑作です。すばらしい！まず表紙に目次がデカデカと載っています。

「九州で 1 番小さい町」「飽きるほどハモが食べられる」「駅前駐車場まさかの 4 時間無料」といった見出しが極太文字、白黒のインパクトのあるデザインです。

そして、開くと表紙にあった見出しの記事がカラーで紹介されているんですが、これがものすごく魅力的です。「とにかく無敵の住吉大神・神相撲」これは神様 22 柱が相撲をとるという人形劇なんですが、ものすごくよくできているチャーミングな神事です。「吉富町　神相撲」で検索してみてください。素晴らしい！興奮します。

そしてこの目玉写真を表紙に入れずに、あえて字だけにするというのもいいアイディア。町でやっている道路標示が例えば普通なら「危険」とあるところを「あ危ねー！」と白ペンキで書いてあるみたいな、つまり道路標示のパロディですが、これは町の気分を表していて、とても魅力的です。ザンネンなのは、これらを出すタイミング。 記事はおもしろい順。「知らせたい」ことはゆっくり後で・・・の方がボクはいいと思うなぁ。

【楓 千里　委員】

◎総括

「キャン、キャイーン」と秋田犬のはしゃいだ声が聞こえてくる表紙。しっかり周辺を見回わしながら、耳をピンと立てる立派な秋田犬の裏表紙。この構成にまずノックアウトされたのが、大賞を受賞した秋田県のパンフレットです。誰でも、手に取ってみたいとの気分にさせてくれます。多言語を併記せず、7 言語別の刷り分けは、各国でのインバウンド誘致のツールとして、その国に正対しているとの好印象をもたらします。右綴じの日本語版、左綴じの多言語版で違和感なく上手くデザインの工夫がされているのも、高評価のポイントです。

◎個人賞　大分県竹田市「暮らすように旅する竹田 つくりてのつくるば」について
　竹田市の観光定番「岡城」は掲載されていません。竹田に住む若いアーティスト、デザイナー、ものづくりの作家に焦点を当て、竹田で生活する人たちの、今の息吹を感じさせてくれるパンフレットです。紹介されている皆さんのプロフィール写真から、温かみが伝わってきます。後半は可愛らしいイラストを使って、市内 2 泊 3 日の旅程を公開。「朝から晩まで「たけた」を味わいつく、ディープな旅」と紹介されているように、市販のガイドブックには掲載されていないスポットを丁寧に案内しています。この行程に添って、市立図書館や城下町散歩をすれば、自然に「岡城」へは行き着くのでしょう。竹田にどっぷり浸かってみたいと思わせてくれる 1 冊です。

【パックン　委員】
◎総括、個人賞　天草・宇土半島地域広域連携事業実行委員会
「天草・宇土半島 ワイルド島と男メシ」について
　年々、各地のパンフレットのレベルが上がっていくのを見るのが毎回の楽しみになってきました。今回は行ってみたくなるものも多ければ、住んでみたくなるようなパンフも多かったです。その中で僕が選んだのは、パパと息子の「親子プラン」に徹底したアイディア商品。面白そうなアクティビティー、子供が絶対に食いつくアイテム、達成したくなる「ミッション」を見せられたら、行くしかないと思いました。写真に写っていた少年とほぼ同じ年の息子に見せたら、彼も行きたいという。観光や移住のほかに、親孝行を推進するパンフも重要ですね。

【マックン　委員】
◎総括
　華やかに、美しく表現するもの・一か所にスポットを当て、その街の魅力を紹介するもの・手作り感を出しているもの・ターゲットを絞って PR するものなど、どれも個性的で、何を基準に審査したらいいのか毎回頭を抱える所ですが、そこが審査の醍醐味、楽しいところでもあります。
　ここ数年外国人観光客が急激に増えたこともあり、英語に訳したものや、スマホのアプリと連携したものが目立つようになってきています。中でも今回、秋田県は英語だけではなく、複数の言語別にパンフレットを製作して世界にアピールする姿勢、プラス、秋田の美、日本の美を華やかに表現されている一冊だったので、それが評価に繋がったのだと思います。今年も緊張しつつも楽しく審査させていただきました。

◎個人賞　群馬県嬬恋村「妻との時間をつくる旅 公式ガイドブック」について
　まず「妻との時間をつくる旅」という表紙のキャッチコピーに目が行きました。そしてパンフレットの中では、仲睦まじい夫婦の姿が写真で紹介されています。
　しかもモデル夫婦が一組ではなく、シチュエーション別に違うご夫婦で紹介されていて「嬬恋は、どの世代の方でも楽しめますよ」というメッセージを感じました。
　「たまには夫婦でちょっと旅行しようか？」普段は口にしないけど「いつも感謝していますよ」という旦那さんからのメッセージが込められているラブレター的パンフレットなので、キッチンテーブルやリビングなど奥さんの気付く場所にさりげなく置いてみたいですね。

【地域活性化センター常務理事　岩崎 正敏】

◎地域活性化センター賞　静岡県静岡市「しずおか東海道まちあるきガイドブック」について

　東海道五十三次のうち、現在の静岡市にある蒲原、由比、興津、江尻、府中、丸子の六宿とそれらの間や近くにある薩埵峠、三保松原、日本平・久能山東照宮、登呂、宇津ノ谷峠といった見どころを紹介している。各宿や見どころについて、見る・食べる・知るの情報が過不足なく盛られており、たまたまこの周辺の土地勘がある選者からみても、改めて出かけてみようかと思わせる。

　このパンフレットを携えて、東海道中膝栗毛（弥次喜多道中）の追体験や、歌川広重の浮世絵の現場を探索してみるのも一興。

左から　楓千里 氏、南伸坊 氏、パックン氏、マックン氏、岩崎常務理事

６．詳細情報は、地域活性化センターＨＰ「ふるさと情報コーナー」ページに掲載

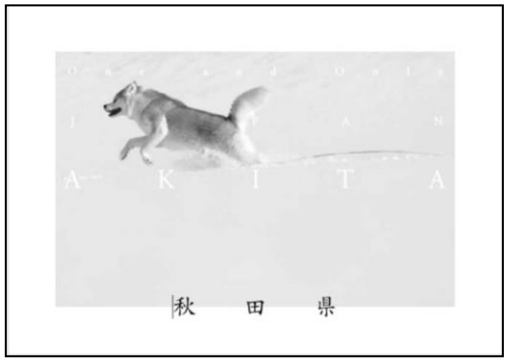
http://www.jcrd.jp/

【お問い合わせ先】一般財団法人　地域活性化センター　広報室　福田、畠田

電話０３－５２０２－６１３７

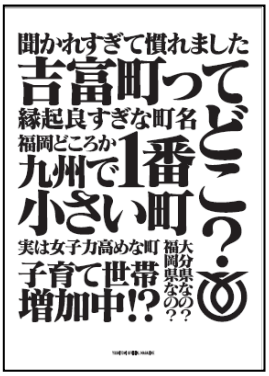
第6回　ふるさとパンフレット大賞　受賞パンフレット

【大賞】秋田県

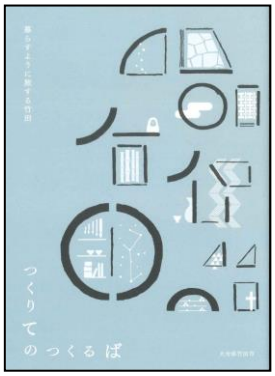


【優秀賞】石川県小松市

【南伸坊賞】福岡県吉富町

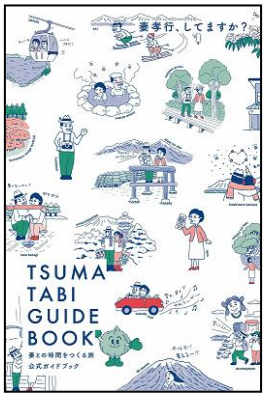


【楓千里賞】大分県竹田市



【パックン賞】天草・宇土半島地域広域連携事業実行委員会

【マックン賞】群馬県嬬恋村



【地域活性化センター賞】静岡県静岡市

【敢闘賞】群馬県沼田市

【敢闘賞】東京都港区